

| 活動タイトル | 劇とディスカッションのCAPで人権ウェブの町に！ | | 団体名 | ENJOY CAP | |
|--|---|--|---|---|--|
| <p>1年間の活動 (アウトプット)の目標 (事業全体)</p> <p>事前に教育委員会の協力をいただく。 ①小学校二校との打ち合わせ (日程調整)、②保護者CAPのチラシ作成、配布、③アンケート作成 (子ども、教職員、保護者) ④保護者CAP実施 (2校)、⑤教職員CAP実施 (2校)、⑥子どもCAP実施についての担任との打ち合わせ (18クラス、6クラス) ⑦子どもCAP実施 (18クラス、6クラス)、⑧CAP終了後の三ヶ月後アンケート (子ども、教職員、保護者)、⑨一宮学園での『CAP地域セミナー』への呼びかけ ⑩学校側との振り返り、⑪教育委員会との振り返り</p> | <p>■活動報告</p> <p>●子どもCAPの実施 一宮町の全小学校2校 (A校18クラス、B校6クラス) で子どもCAPが実施できるように教育委員会 (教育長) と小学校校長に説明に伺い、検討していただいた結果、実施することになった。その後、各小学校の担当者と実施日の設定をし、2019年7月までに2校24クラスで子どもCAPが実施できた。各小学校の2年生～6年生に子どもCAPの事前と直後のアンケートを実施し、「人権」の理解と暴力の対処法の習得について効果測定を行った。担任には子どもCAP直後と三ヶ月後 (A校)、2週間後 (B校) にアンケートを実施した。</p> <p>●保護者CAPの開催 子どもCAPを実施する前に保護者を対象にしたおとなCAPを実施した。各小学校で参加者を募るためにチラシを作成、各小学校の全児童に配布した。A校では保護者対象に子どもCAP 1 か月後の変化について問うアンケートが実施できた。その他に地域全体を対象に「おとなCAP in 一宮町」を町の施設で開催した。チラシ配布先は一宮町の全小学生の保護者、その他町役場や商店街に掲示・設置してもらった。またSNSを使用した広報を展開。</p> <p>●教職員CAPの実施 子どもCAPを実施する前にA校の教職員を対象に教職員CAPを実施し、また子どもCAP実施直後には担任にアンケートを実施した。</p> | | <p>■1年間の目標に対する達成状況</p> <p>●子どもCAP〈事前・事後のアンケート結果〉 いじめられたら、「いや」「逃げる」「はなしをする」とした回答が1.5倍になった反面、「やりかえす」とした数が半減。また、いやなことをされたことを「秘密にする」とした回答は4分の1に減少し、さらに「困った時に話せるおとなの数」は1.3倍になった。⇒暴力への対処法を知り、また、相談者の選択肢も広がったと考えられる。</p> <p>●保護者CAP〈1 か月後のアンケート結果 (回収率約 60%) 〉 親子でCAPについて話し合ったとする回答が63%を占めた。また、生徒を通じて配布した「お土産プリント」を、「見た」とした回答は約77%にのぼった。 ⇒保護者にCAPの存在が周知されはじめたことが実感される。</p> <p>●教職員CAPの実施 ・「子どもに役立つ」また「クラス運営にも役立つ」とした回答が全体の96%を占め、さらに「他校にも勧めたい」としたものが86%にのぼった。 ⇒教職員 (担任) 自身は、ほぼ肯定的に受けとめているようである。 ・子どもCAPを実施した後、子どもに変化があったとする意見がA校で8割を占め、さらに内訳では、「子どもたち自分の意志をはっきり表示できるようになった」・「権利意識が芽生えた」・「先生に相談する子どもが増えた」とする声があった。 ⇒教職員からみても、子どもたちの意識の変化が実感できているようだ。</p> | <p>■活動風景</p> <p>おとなCAP風景 (保護者対象/12名参加)</p> <p>9月22日に保護者を対象におとなCAPを開催。</p>  | |
| <p>■1年間の活動のまとめ</p> | | <p>■事業を通じて得られたノウハウ</p> | <p>■実施した人材育成策</p> | <p>■活動成果のアピールポイント (自由記入)</p> | |
| <p>児童養護施設一宮学園ではすでに12年間CAPを実施している。しかし、肝心の一宮学園の生徒が通学する一宮町内の小学校・中学校では費用面をはじめとした諸事情によりそれが叶わなかった。今回助成金を申請した最大の目的は、一宮町内のすべての子どもたちにCAPを展開し、さらにその波を町全体に広げることで、子どもの人権への理解と暴力防止を身につけてもらうための活動を実施することだった。取り組みは、実施にあたっての町の教育委員会 (教育長) と小学校校長への説明と協力依頼からはじまり、各小学校の担任のご理解・ご協力を得て、最終的には町内小学校全学年全クラス (2校24クラス) で子どもCAPを実施することができた。</p> <p>また、子どもCAPの前に保護者対象のおとなCAPを各小学校で実施。地域を対象にした「おとなCAP」と教職員CAP (1校) が実施できた。</p> | | <p>●今回初めてアンケート調査を実施したことで「達成状況」の項で記したように客観的な具体的効果を把握することができた。今後も可能な限りアンケートを実施したい。ただ、アンケート項目に当初の目標としていた「自己肯定感」を測る項目がないなど改善すべき点もわかり、改良していきたい。</p> <p>●町全体で円滑に事業を進めるには教育委員会の協力のもと、特に学校現場の先生方との信頼関係の構築が重要であることを再認識した。</p> | <p>●当団体は平日に動けるメンバーが2人しかいない。今回、千葉県内の他グループの助けを借りてCAPを実施することができた。</p> <p>●実施後振り返りを充実させることでお互いのスキルアップにつながった。</p> <p>●当団体の人材育成は喫緊の課題であることを痛感した。次年度以降は最重要課題として新メンバーの確保と人材育成に取り組む。</p> | <p>この1年間の活動を通じて 一宮町の全小学生にCAPを届ける を達成しました。</p> <p>■受益者の変化 (効果測定結果等)</p> <p>●子どもたち…99%が「CAPは楽しかった」と回答。楽しい雰囲気の中で暴力や人権について学べた。暴力の対処法として「いやと言う」「逃げる」「相談する」「叫ぶ」などがいずれも増えた。また相談できる大人の存在に気づき相談先の選択肢が増えた。</p> <p>●教職員…先生への相談がWS前後で21%増えた。また担任も子どもたちが相談するようになったと変化を感じていた。話しやすい環境づくりができた。</p> <p>●保護者…80%の子どもが困った時には親に相談と回答。保護者CAPの参加者は少数だったが子どもの変化を7% (保護者1ヶ月後アンケートより) が感じていた。子どもの権利についてよく話すようになったなど。</p> | |